



CENTRAL 中央自動車工業株式会社

1 中央自動車工業株式会社／会社概要（連結）

設 立	1946年5月
資 本 金	10億100万円
売 上 高	306.9億円(2022年3月期)
経常利益	69.6億円(2022年3月期)
従業員数	302名(2022年3月期)
株 式	東証スタンダード市場上場
子 会 社 関 連 会 社	<ul style="list-style-type: none">●セントラル自動車工業株式会社●株式会社ABT●CAPCO PTE LTD(シンガポール)●CAPCO USA, INC.(米国)●株式会社石川トヨペットカローラ●エイスインターナショナルトレード株式会社

2 中央自動車工業株式会社 / 現在のビジネス

国内ビジネス

自動車部品製造卸 ⇒ カークーラー製造 ⇒ カー用品卸

現在

- 自動車および、その他向けケミカル商材製造
- アルコール検知器製造

メーカー

海外ビジネス

自動車部品卸(輸出)

現在

- 自動車部品卸(輸出)
- 自社開発ケミカル商材販売(輸出)

商社

《 2021年度の決算ご報告 》

3 2021年度の業績(連結)

●全社の業績

単位:百万円(要約)

	2021年度予算	2021年度実績	予算達成率(%)	2020年度実績	対前年増減	対前年比(%)
売上高	29,500	30,690	104	27,570	3,120	111
荒利益	12,380	12,540	101	11,670	870	107
販売費及び一般管理費	6,280	6,060	96	6,260	△200	97
営業利益	6,100	6,480(21.1%)	106	5,400(19.6%)	1,080	120
経常利益	6,700	6,960(22.7%)	104	6,000(21.8%)	960	116
親会社株主に帰属する当期純利益	4,500	4,690(15.3%)	104	3,860(14.0%)	830	121

※()内は売上比率

●事業の種類別セグメント／販売実績

	2021年度(構成比%)	2020年度(構成比%)	対前年増減	対前年比(%)	
自動車部品・用品等販売事業	25,020(82)	22,540(82)	2,480	111	
うち	国内販売(事業内構成比)	16,220(65)	15,480(69)	740	105
	海外販売(事業内構成比)	8,800(35)	7,060(31)	1,740	125
自動車処分事業	5,670(18)	5,030(18)	640	113	
計	30,690(100)	27,570(100)	3,120	111	

4 比較連結損益計算書

単位:百万円(要約)

	2021年3月期	2022年3月期	差額	対前年比 (%)
売上高	27,570	30,690	3,120	111
売上原価	15,900	18,150	2,250	114
売上総利益	11,670	12,540	870	107
販売費及び一般管理費	6,260	6,060	△200	97
営業利益	5,400	6,480	1,080	120
営業外収益	650	540	△110	83
営業外費用	50	60	10	120
経常利益	6,000	6,960	960	116
特別利益	—	—	—	—
特別損失	120	—	△120	—
税金等調整前当期純利益	5,880	6,960	1,080	118
法人税、住民税及び事業税等	2,020	2,270	250	112
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,860	4,690	830	121

5 比較連結貸借対照表

単位:百万円(要約)

科目	2021年3月期		2022年3月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	16,040	40.7	20,630	47.6	4,590
現金及び預金	11,260		14,760		3,500
受取手形及び売掛金	3,340		3,340		0
有価証券	—		1,000		1,000
たな卸資産	1,110		1,250		140
その他	330		280		△ 50
固定資産	23,350	59.3	22,760	52.4	△ 590
(有形固定資産)	3,860	9.8	3,880	8.9	20
建物及び構築物	1,020		1,100		80
土地	2,600		2,600		0
その他	240		180		△ 60
(無形固定資産)	4,620	11.7	4,220	9.7	△ 400
のれん	4,480		4,100		△ 380
商標権	60		20		△ 40
ソフトウェア	40		80		40
その他	40		20		△ 20
(投資その他の資産)	14,870	37.8	14,660	33.8	△ 210
投資有価証券	12,900		12,630		△ 270
長期貸付金	660		660		0
繰延税金資産	560		600		40
その他	750		770		20
資産合計	39,390	100.0	43,390	100.0	4,000

科目	2021年3月期		2022年3月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動負債	4,620	11.7	5,170	11.9	550
支払手形及び買掛金	1,890		1,920		30
未払法人税等	1,120		1,350		230
賞与引当金	400		420		20
その他	1,210		1,480		270
固定負債	1,230	3.2	1,410	3.3	180
繰延税金負債	10		10		0
退職給付に係る負債	1,120		1,290		170
長期預り保証金	80		80		0
その他	20		30		10
負債合計	5,850	14.9	6,580	15.2	730
株主資本	32,540	82.6	36,070	83.1	3,530
資本金	1,000	2.5	1,000	2.3	0
資本剰余金	4,730	12.0	4,780	11.0	50
利益剰余金	27,420	69.6	30,900	71.2	3,480
自己株式	△ 610	△ 1.5	△ 610	△ 1.4	0
その他の包括利益累計額	970	2.4	710	1.6	△ 260
非支配株主持分	30	0.1	30	0.1	0
純資産合計	33,540	85.1	36,810	84.8	3,270
負債・純資産合計	39,390	100.0	43,390	100.0	4,000

内訳／関連会社株式 8,680、社債 500、一般株式 3,450

6 2021年度／キャッシュフロー計算書の概要

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

	税金等調整前当期純利益①	6,966
非資金費用等	減価償却費	226
	のれん償却額	381
	退職給付に係る負債(退職給付引当金)の増加額	167
	持分法による投資損益(△は利益)	△315
	非資金費用等による資金調達②	460
営業活動による資金	受取利息及び受取配当金	△118
	売上債権の減少額	12
	棚卸資産の増加額	△116
	仕入債務の減少額	△13
	未払金の減少額	△3
	その他	117
	営業活動による資金調達③	△121
	小計(①+②+③)	7,305
その他	利息及び配当金の受取額	161
	法人税等の支払額	△2,033
	その他による資金調達④	△1,872
	(A) 営業活動によるキャッシュ・フロー(①+②+③+④)	5,433

単位:百万円(切捨て)

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動	定期預金の預入による支出	△224
	定期預金の払戻による収入	24
	投資有価証券の取得による支出	△627
	投資不動産の賃貸による収入	51
	有形固定資産の取得による支出	△194
	無形固定資産の取得による支出	△39
	その他	△8
	(B) 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,018

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動	配当金の支払額	△1,214
	その他	79
	(C) 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,135
	(D) 現金及び現金同等物に係る換算差額	19
	現金及び預金の増減額(△は、減少額)(A+B+C+D)	3,298
	現金及び預金の期首残高 (注)	11,265
	定期預金の増加額	200
	現金及び預金の期末残高 (注)	14,764

(注) 現金及び預金の期首残高には3ヶ月超の定期預金800百万円を含み、
期末残高には3ヶ月超の定期預金1,000百万円を含む

7 業績の推移(連結)

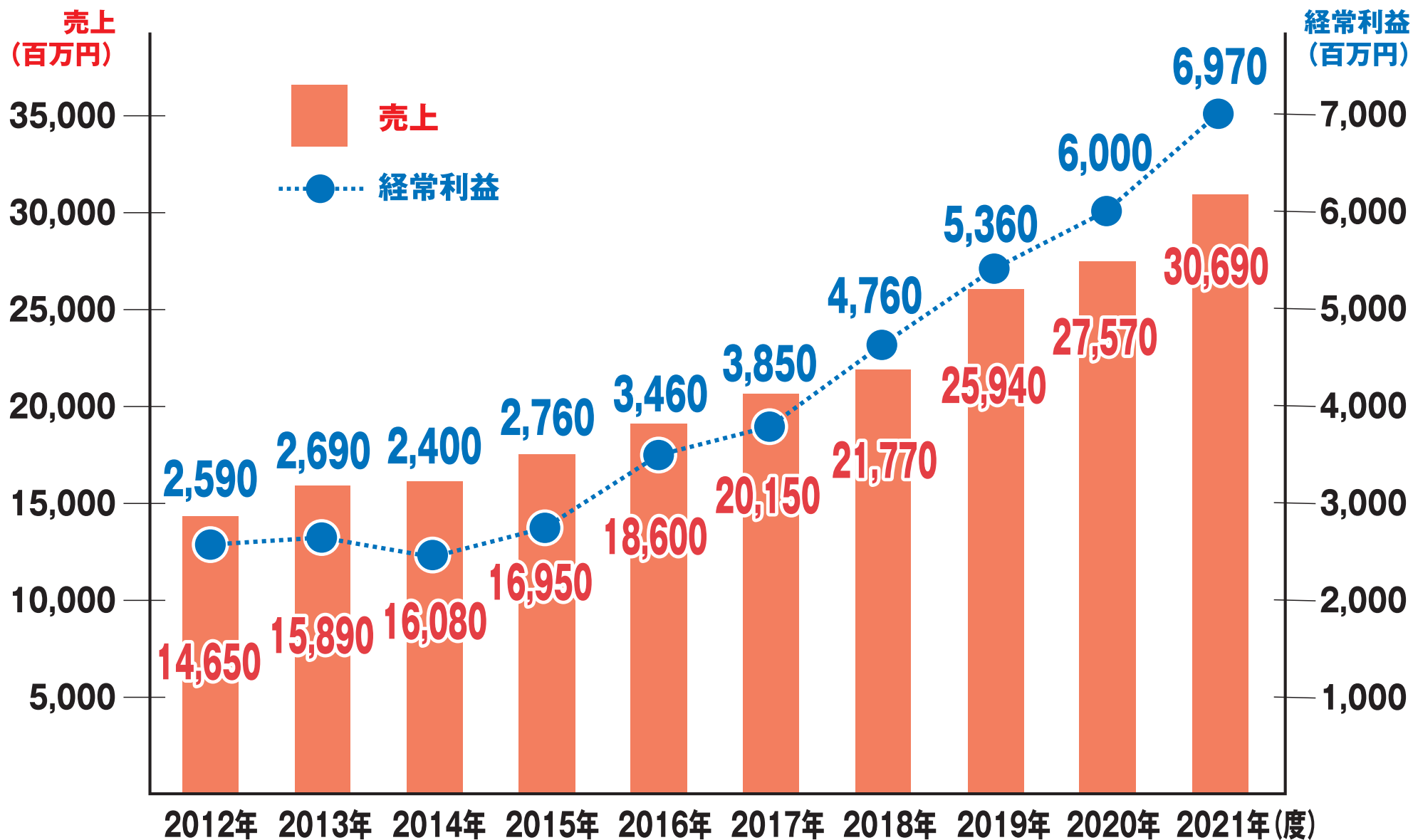
年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	18,605百万円	20,154百万円	21,770百万円	25,943百万円	27,571百万円	30,693百万円
営業利益	3,077百万円	3,423百万円	4,339百万円	5,022百万円	5,408百万円	6,483百万円
経常利益	3,461百万円	3,847百万円	4,758百万円	5,358百万円	6,004百万円	6,966百万円
当期純利益	2,395百万円	2,727百万円	3,392百万円	3,875百万円	3,864百万円	4,689百万円
配当性向 (単体)	29.8%	30.5%	29.8%	26.2%	29.8%	30.3% [※]
ROE	12.2%	12.6%	14.3%	14.6%	12.5%	13.3%
自己資本比率	81.3%	82.3%	82.8%	81.4%	85.1%	84.8%

※) 2021年度の配当性向は、配当案をもとに算定

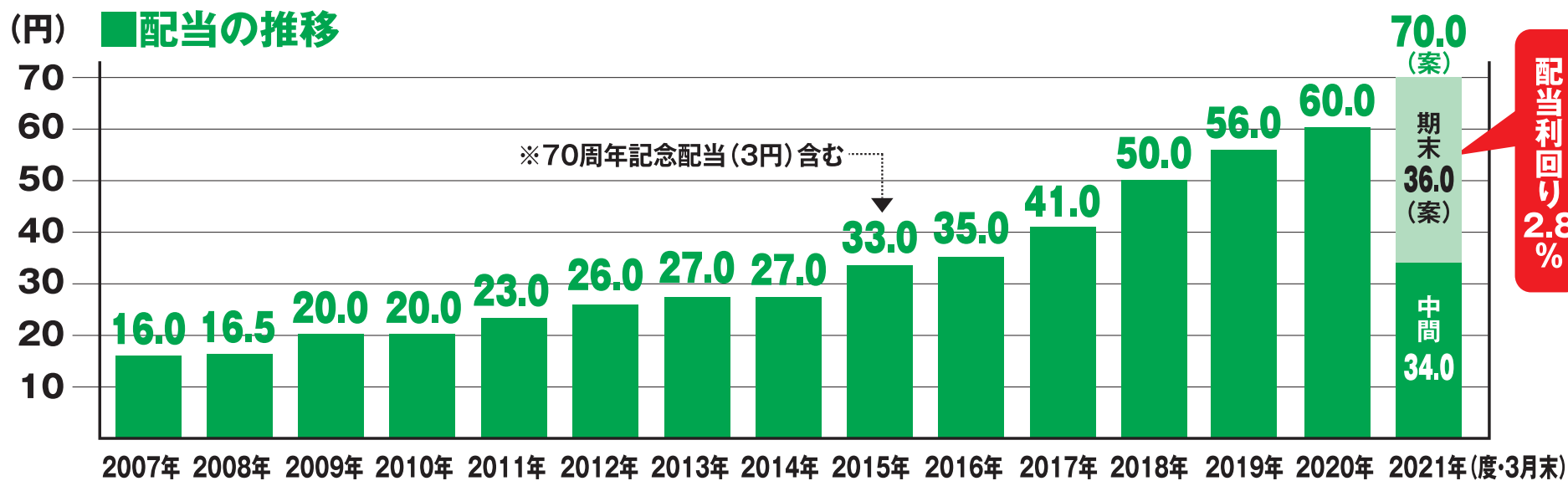
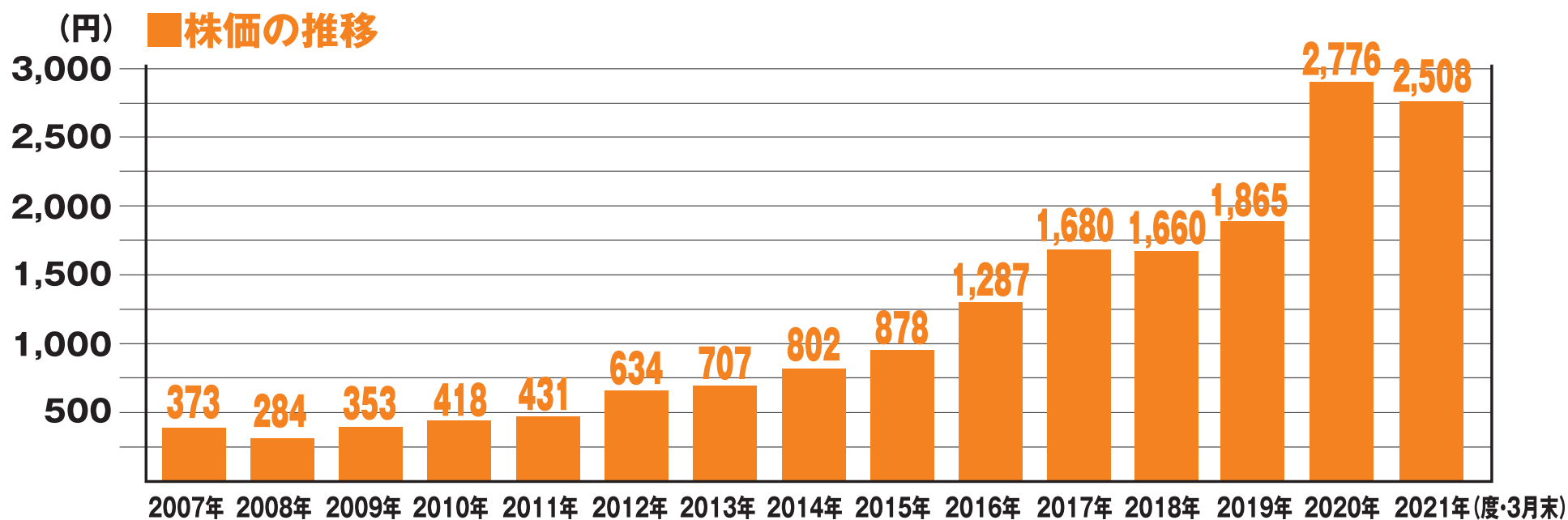
8 1人当たりの計数

	2020年度	2021年度	2021年度 当社1人当たり 人員302名(パート含)
売上高	27,570百万円	30,690百万円	101,630千円
販管費	6,260百万円	6,060百万円	20,070千円
営業利益	5,400百万円	6,480百万円	21,470千円
経常利益	6,000百万円	6,960百万円	23,070千円

9 2012年度からの売上と経常利益の推移(連結)



10 株価と配当の推移



《 2021年度 国内ビジネス 》

11 国内の事業内容 / ①

**全国の自動車販売店様に、ボディコーティングを中心とした
自社開発商材を拡販致しました。**

**ボディコーティング、抗菌防臭剤、オイル添加剤、シートコーティング、
ガラスコーティング、樹脂コーティング、防錆剤 他**

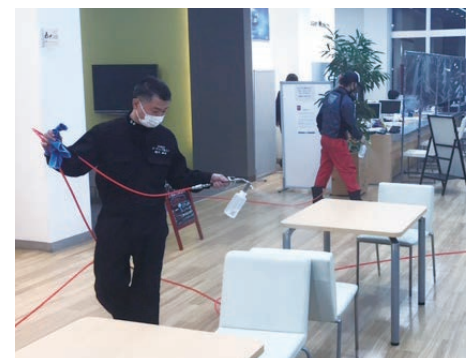
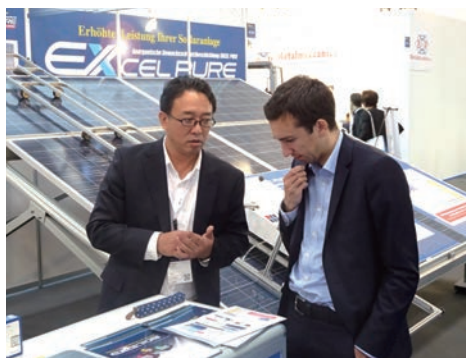


11 国内の事業内容 / ②

**アルコール検知器「ソシアック」を、一般法人、官公庁、
鉄道・バス・トラック等の輸送事業者様に販売致しました。**



**防汚コーティングを世界的に販売すると共に、抗ウイルス効果を持つ
抗菌防臭剤を、劇場、ホール等の施設に販売・施工致しました。**



12 国内事業所

全国14拠点を有効活用し、出来る限りお客様の現場に近づき、お役に立てるよう努めています。



●福岡支社



●金沢営業所



●札幌支社



●北関東支社



●静岡営業所



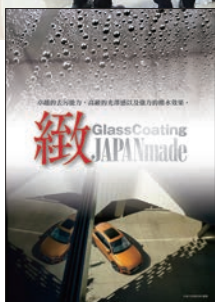
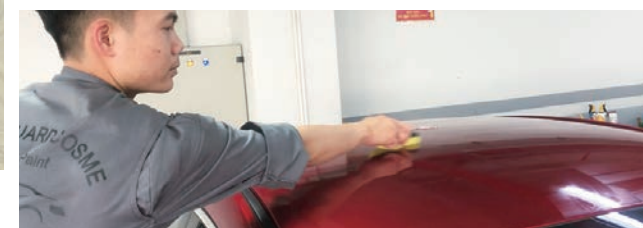
《 2021年度 海外ビジネス 》

60数カ国をネットワークして、自動車用部品を海外の部品輸入商、代理店等に販売致しました。

- 高品質の日本製及び外国製自動車部品の販売、及び三国間貿易。
- 当社オリジナルPB部品、他社OEM用品等の販売。



ボディコーティング等、自社開発商材の国内ビジネスモデルを海外でも展開致しました。 ●中国・台湾・ベトナム等



14 海外事業所

現地法人や海外事業所等を拠点として、各国の
現地・現場に密着した営業活動を展開しています。



●現地法人 下バイ

協力会社 韓国 CTR

現地法人 米国 デトロイト



●現地法人 デトロイト

本社 日本

現地法人 中国 広州

海外事業所 台湾 台北

現地法人
UAE ドバイ

現地法人 フィリピン マニラ



●海外事業所 台北

現地法人 ベトナム ホーチミン

現地法人 マレーシア クアラルンプール

海外事業所 ミャンマー ヤンゴン

現地法人 シンガポール

海外事業所 インドネシア ジャカルタ

●現地法人 クアラルンプール



15 関連会社の状況

セントラル自動車工業株式会社

主力商品及び新商品等の増産により生産量が増加しましたが、生産設備の増設と人員の増員により迅速に対応致しました。



▲CPCブランドの生産工場
「セントラル自動車工業株式会社」

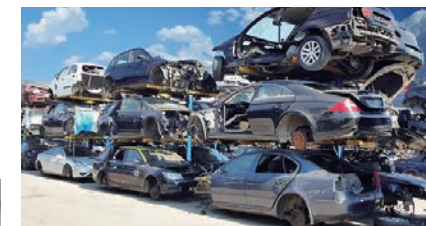


株式会社ABT

前年と同水準の取扱い台数となりましたが、中古市場の活況や鉄スクラップ相場の高騰を追い風とし、効率的かつ安定した事業運営に努めました。



▲損害保険会社の全損認定車両処分に関わる「株式会社ABT」。



《 2022年度 活動方針 》

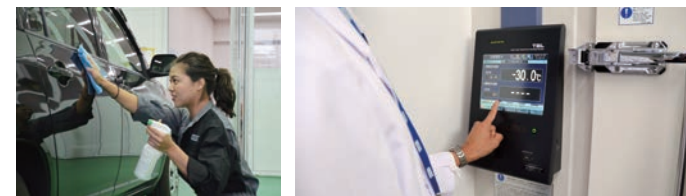
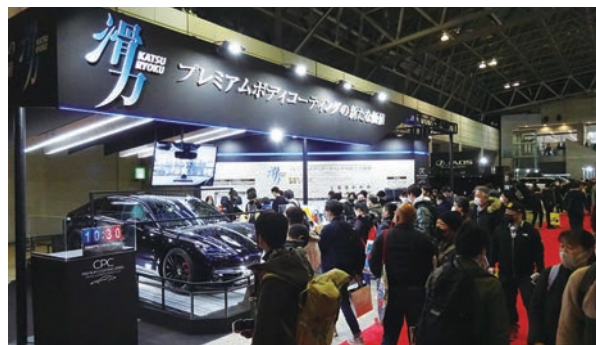
① 新車の生産減を予測し、地域密着営業を通じて3つの新規開拓を推進

「新規顧客開拓」「新規ビジネスモデル開拓」「新商品の拡販」3つを強力に進める。

② 更に品質を向上させた2種類のコーティングを新商品として今期発売予定

③ 感染対策を徹底しながら訪問活動を強化

④ 異業種を含めた衛生関連商品の提案強化



アルコール検知器「ソシアック」のブランド化

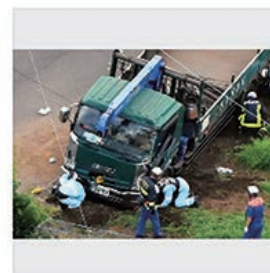
2022年10月施行の道路交通法施行規則改正に向け、新たな市場開拓とブランド構築を積極的に進めてまいります。《テレビCM、ラジオCM、新聞広告、各種展示会出展 等》



ドライバーの飲酒検査、業務の白ナンバー車も義務化へ

8/3(火) 5:00 配信 2389

朝日新聞
DIGITAL



児童の列に突っ込んだ白ナンバーのトラック=2021年6月28日、千葉県
7年連続、朝日新聞社調べ

千葉県八街（やちまた）市で6月、飲酒運転のトラックにはねられた小学生5人が死傷した事故を受け、警察庁は、自分たちの荷物などを運ぶ「白ナンバー」の車を業務で使う事業者が一定の基準を満たす場合、アルコール検知器による運転者の飲酒検査を義務づける方針を固めた。

【写真】息を吹きかけると測定値が出るアルコール検知器。中央自動車工業によると、需要は高まっているという
=同社ホームページから

17 海外営業の方針

① 海外における商品ブランディングを展開

マスメディア、デジタル広告等を活用し、PB商材やOEM、海外におけるオリジナル商品の市場浸透を図る。

② 注力エリアにおいて、新規開拓を強化・推進

③ ベトナムを中心に国内ビジネスモデルを育成

④ メーカーブランドOEMの拡充と販売強化

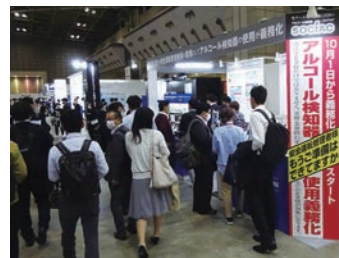
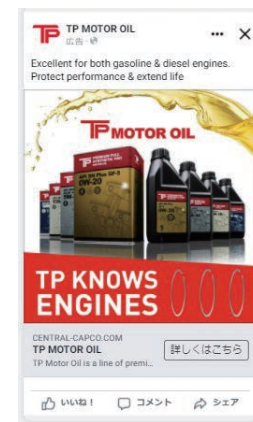
⑤ PB商材のラインナップ充実と提案強化



商品開発



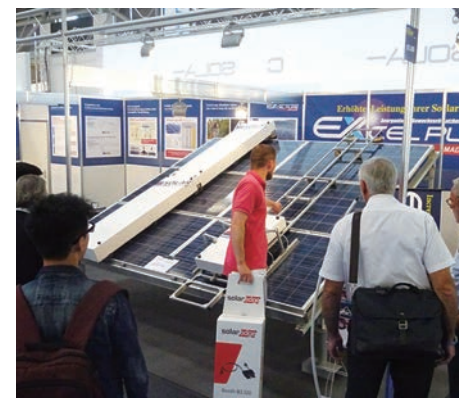
販促費



■現場支援（事業所の新築、社員教育）



■M&A・Newビジネス



19 社会貢献活動

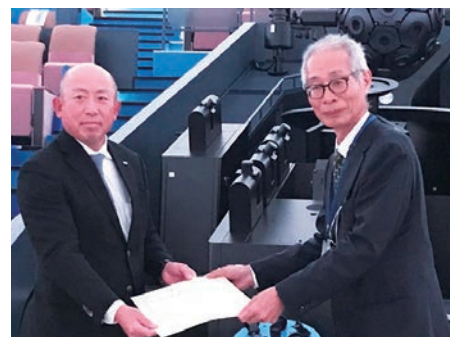
交通事故被害者への援助

- (財)交通遺児等育成基金に、会社及び社員の善意金を寄付。
- またソシアックの売上収益の一部寄付を継続中。



感染症予防対策への援助

- 大阪の公共施設等へ、抗ウイルス効果のある衛生商品「抗菌・防臭チタニア」を寄贈施工。



その他、啓蒙活動や教育活動、スポーツ活動への協力

- FMラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛。
- 交通安全啓蒙映画等への協賛。
- 財団法人全日本交通安全協会へ、交通安全教育用としてソシアックを寄贈。
- 全国マスコミへの取材協力、各種シンポジウムへの協力。
- 財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。
- JPA日本パラ陸上競技連盟へのオフィシャルパートナーとして協賛。



※昨年に引き続き、「健康経営優良法人2022」に認定されました。今後も、環境・社会への貢献、社員の健康管理への取り組みを継続してまいります。

20 ESG / 2021年度の新たな取り組み

大阪の公共施設等に、抗ウイルス・抗菌・防臭効果をもつ「抗菌・防臭チタニア」を無償施工させて頂きました。

●大阪市立中央図書館 ●大阪市立クラフトパーク ●総合生涯学習センター ●キッズプラザ大阪 ●大阪中之島美術館 ●大阪市立科学館



当社開発商品の空き瓶を回収し、リサイクルに繋げる取り組みをはじめています。

●得意先様で発生したボディコーティング等の空き瓶を当社が回収し、リサイクル業者様に提供しています。



当社の支社スタッフが率先して支社前の歩道の植え込みに花を生け、花壇に致しました。

●以前はポイ捨てが多かった植え込みに全くゴミがなくなると、地域の方々にも喜ばれています。




今期より「インテグリティ」を行動指針として掲げ、持続可能な企業を志向する人材の育成に努めてまいります。

21 SDGs / 継続しての取り組みと 2022年度の方針

3 すべての人に健康と福祉を

交通事故被害者への援助、啓蒙活動への協賛


(財)交通遺児等育成基金へのソシアックの売上収益の一部寄付や、ラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛を継続。



10 人や国の不平等をなくそう

啓蒙活動、スポーツ活動への協力


財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。JPA日本パラ陸上競技連盟へのオフィシャルパートナーとして協賛。



3 すべての人に健康と福祉を

健康経営への取り組み


従業員の心身の健康を重要な経営課題と捉え、健康経営の取り組みを実施。本年も「健康経営優良法人2022」に認定されました。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

パートナーシップ構築宣言に参画


「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、パートナーシップ構築宣言に参画しています。



5 ジェンダー平等を促進しよう

ダイバーシティの推進


多様性と創造性を活用できるよう、海外現地法人において現地スタッフの採用や、全社的に女性管理職の登用を推進。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

ISO14001、9001の認定を取得、活動を継続

ISOへの取組みのため、「電気使用量の確認と節電にむけた対策」「紙類リサイクルの徹底」「営業車のHV化」等の活動を継続実施。




FS 543170 / ISO 9001
EMS 543169 / ISO14001
本社 国内支社・営業所

6 安全な水とトイレを世界中に

ボディコーティングの販売による環境負担の軽減


コーティングの開発・販売を通じて、洗車回数の削減やカーシャンプー使用頻度の低下による水質保全に繋がっています。



14 海の豊かさを守ろう

アルコール検知器のパッケージ紙素材使用


当社開発商品であるアルコール検知器の梱包は全て紙素材を活用し、プラスチックごみによる海洋汚染問題への対策に対応。



12 つくる責任つかう責任

人と環境に優しい製品開発


各種法令に配慮した、人と環境にやさしい製品開発を推進。常に最新の安全データシート(SDS)をHPより提供。



12 つくる責任つかう責任

コーティング製造工場における廃液排出ゼロの取り組み

関連子会社における製造過程での廃液排出をゼロにし、周辺環境への影響を無くし、環境汚染等を防ぐ取り組みを推進。



2022年度の方針

社会貢献を目的とし、ESG・SDGsへの取り組みを強化
働き易く、環境へ配慮した職場づくり = 国内外事業所の改善

コーティングガラス瓶のリサイクルシステムを構築
時間外労働管理、有休取得推進、育児・介護休業への対応

企業理念

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

基本方針

- (1) お客様の潜在ニーズを読み、期待を上回る新しい商品・サービスの開発を通じて需要を創造する。**
- (2) 全てのお客様・お取引先様への感謝の念を忘れず、徹底したサービス体制を通じて、信頼とお役に立つ中央を目指す。**
- (3) 役員・社員の能力と生活向上を通じて、社会的責任を果たす開発型企業を目指す。**

23 2022年度の目標

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	配当予想
2022年度 第2四半期	15,700 (109%)	3,400 (112%)	3,600 (107%)	2,350 (102%)	128円14銭	第2四半期末 37円 期末 37円 合計 74円
2022年度 通期	32,000 (104%)	7,000 (108%)	7,400 (106%)	4,850 (103%)	264円47銭	※配当性向 29.0% (単体)

()内%表示は、2022年度第2四半期が対2021年度第2四半期、2022年度通期が対2021年度通期伸率。

- 配当政策を経営上の重要課題としている当社と致しましては、環境の変化激しい中でも開発型企業として経営の維持・発展に努め、株主の皆様には「安定かつ高配当」を継続して参りたく存じます。
- 2021年度の期末配当金につきましては、当初予想の1株当たり32円から4円増額の36円とし、通期の1株当たりの配当金は前期比10円増配の70円にさせて頂き、また2022年度につきましても、不透明な市場環境下ではありますが、更に4円増配の74円とさせて頂きたいと存じます。

ご清聴、ありがとうございました。